

# 令和5年度 活動報告書

町の魅力発信担当

矢田 愛香

## 1. 情報発信

### ◆たつの暮らしホームページ、Facebook、Instagram

ホームページにイベント情報、移住定住に関する情報を随時掲載。Facebook、Instagramには協力隊のイベント告知、報告等の投稿、季節の風景やイベントの写真を撮影し、投稿しました。広告機能を使い、小野御柱祭やどろん田バレーボールフェス等のイベント集客も行いました。



ホームページ



Facebook



Instagram

### ◆写真撮影

グラバイスクール、移住定住パンフレット、ふるさと納税返礼品の写真撮影



### ◆abn・八十二ふるさとCM大賞 NAGANO

関係人口をテーマに30秒のCMを企画。辰野町の関係人口3人を撮影し、辰野町の魅力について語ってもらった映像をつくりました。最終審査まで進み、敢闘賞を受賞。長野朝日放送でも放送されました。



辰野町ふるさとCM動画

## ◆みんなの経済新聞ネットワーク 伊那経済新聞



伊那経済新聞

みんなの経済新聞ネットワークは全国的なプラットフォームで、Yahoo!ニュースとも連動。各地域の事件事故を扱わないハッピーなまちネタを扱う媒体です。また上伊那エリアがなかったため、上伊那の情報発信をするために、3/1～「伊那経済新聞」を始めました。

町の魅力発信担当として活動する中で、行政や各事業者がHP や SNS 等で情報発信をしていますが、「辰野町と検索されないと情報が見てもらえない」「さまざまな分野を横断していない」「観光や日常生活の場はひとつの自治体にとどまらないが、上伊那全体のタイムリーな情報発信メディアがない」という課題を感じていました。箕輪町地域おこし協力隊や、地域と関わりたい信州大学の学生も一緒に記者をやっており、平日1本の頻度で上伊那のニュースを掲載しています。

## 2. 関係人口創出

### ◆どろん田バレーボールフェス

昨年度、信州つなぐラボと共催し、川島振興会の方々にお手伝いいただきながら、4年ぶりに復活。今年度も「共創」をテーマに参加者は準備から参加し、当日の運営の手伝いや片付けにも参加。地域住民への配慮をした上で開催しました。全国から20チームが参加し、約200人が会場に集まってバレーボールや交流を楽しみました。会場では川島の野菜や米を販売、辰野町のキッチンカーも出店しました。



### ◆官民連携の取り組み

- 東京都が運営するスタートアップ支援事業「NEX s Tokyo」で、辰野町とスタートアップ企業が出会うきっかけをつくるミートアップイベントの開催や、多数の自治体とスタートアップ企業がつながれる「NEX s Fes#4」に出展。
- 長野県内の新産業の創出、雇用の増加、付加価値の高い先進的ビジネスの創造につなげ、地域に企業が根付く新しい企業立地のモデルとして推進する事業の「チャレンジナガノ」で辰野町にエントリーした企業の選定、企業視察対応。

### 3. 里山の魅力を発信する活動

- ◆「未来につなぐ辰野町の森ビジョン」策定会議へ委員として参加
- ◆トモリ舎での薪づくりを通じたコミュニティ「マキコミ」企画の推進
- ◆伊那市 kikori 塾で立木の伐倒講習
- ◆森林関連の取り組みの視察（飛騨市、WOOD COLLECTION2023「JAPAN ReWOOD」、木曾おもちゃ美術館、東御市ミマキウッドラボ）
- ◆信州大学のゼミでの辰野町の森林活用の事例紹介

### 4. その他の活動

- ◆NPO 法人木の子のイベントサポート
- ◆令和6年度地域おこし協力隊募集のサポート

### 5. 来年度の主な活動予定

- ◆辰野町デジタル MAP の制作
- ◆たつの暮らしホームページ、Facebook、Instagram の運用
- ◆里山の魅力を発信する取り組み

### 6. 所感

協力隊2年目は、情報発信の活動を SMOUT やみんなの経済新聞ネットワークなど、全国的なプラットフォームを使うことにより発展させることができました。また森ビジョン策定会議を通じて、町の魅力である里山のことを町内外に発信するための土台づくりをする1年になりました。

最後の年となる3年目は、今まで情報収集してきた辰野町の魅力を詰め込んだ辰野町のデジタル MAP 制作や、これまでの情報発信を継続し、町内外の方に町の魅力をさらに知ってもらえるよう活動します。里山に関する活動については、魅力を感じてもらえる企画によって関わる人を増やし、持続可能な辰野町の里山を考えていきたいと思えます。

来年度も協力隊での活動を頑張りながら、田んぼと薪ストーブとやぎと、里山暮らしを楽しみます。

